

いなば泰子 ニュース



思いっきり遊びホッとできる環境を



子どもの 放課後保障

下校後の児童にとつて家庭のよつな空間と、落ち着く場所の確保は不可欠です。岡山市には「地域の盛り上がりの中で、自発七〇近くの学童クラブがありまごとのような答弁をしましたが、現在、百人以上の大規模な子どもたちが必要としている施設ものが四クラブあり、学童クラブに支援の差があつてよいのでしょブのあり方が問題になつてしまつたか。もっと公平さが求められて当然だと思ひます。

吹田では基準で ゆつたりと

先日、大阪府吹田市千里、新田小学校の学童クラブを視察しました。ここでは、空き教室やプレハブ教室を利用して、一教室内に約三十五人という基準になつています。国は三十六人以上を大規模と認定しているのですから、当然と言えるでしょう。

指導員の 身分保障を

先日、大阪府吹田市千里、新田小学校の学童クラブを視察しました。ここでは、空き教室やプレハブ教室を利用して、一教室内に約三十五人という基準になつています。国は三十六人以上を大規模と認定しているのですから、当然と言えるでしょう。

二階建てのプレハブに三十三人ずつ、六十六人の子もが帰ってきます。その中で障害児は五人です。少人数で、とてもゆつたりと落ち着いた雰囲気でした。

大規模クラブは 分割を

岡山市でも、大規模クラブでは保護者たちが二施設目を設置し、分割しようとして取り組んでいます。しかし市の援助は貧しく、特に市所有の土地以外での施設には全く費用が出ていません。当局は

よつにすることです。決して有償ボランティアではありません。指導員の安定した職場として位置づけが必要があるにもかかわらず、「運営委員会が選任する」と

障害者サービスへの 「応益負担」に反対

高齢者サービスの介護保険改悪に連動して、法律で障害者へのサービスも負担を重くする制度に変えられようとしています。



今後のスケジュール

- 7月18日(月) 平和行進 西大寺 県庁
- 19日(火) 平和行進 県庁 市役所
- 文教委員会
- 29日(金) 林病院夏祭り
- 31日(土) 障害者の人権を考える学習会 (高島公民館)
- 8月 1日(月) 生活・法律相談
- 6日(土) 広島原爆記念日
- 9日(火) 長崎原爆記念日
- 15日(月) 終戦記念日

稲葉 泰子

「応益負担」に名を借りた福祉切り捨てに反対します。

みんなの 声

六月の議会で萩原市長が四つの公立保育園を民営化する、と表明しました。

どの園を民営化するのは明らかにされていません。

保育をよくするための民営化ならば、保護者や保育士さんの意見を聞いたり、

公立保育園を守ろう

保育園自体の特徴を調べたりして「こんな保育をしよう」との議論がさきにあるはず。数だけ出されたのは、一つ民営化すると一億円予算が浮く、というお金の話がある証拠です。

市の予算の0.6%をさらに削るよりも、子育て支援を充実させる議論をするべきです。(高島・H)



六月二十九日、青年が中心となって、「岡山大空襲から六十年、犠牲者二千人へとどけ ピースキャンドル」を石山公園で行いました。岡山大空襲について若い世代がもっと知るう、戦争を知らない私たちが語り継いでいこうと企画しました。その中で、プラスチック弾をアルミ缶に落して音を出し、焼夷弾が落ちてくる音を想像(体験)しました。空襲には遭いたくないし、その空襲をおこす戦争はしたくない。そのため今できることは、空襲そして戦争をリアルに想像(仮想体験)してみることだと思いました。(高梨)

岡山空襲から六十年

ピースキャンドルどもす

六月二十九日、青年が中心となって、「岡山大空襲から六十年、犠牲者二千人へとどけ ピースキャンドル」を石山公園で行いました。

高島公民館で

憲法を考える学習

高島公民館では7月から12月まで毎月一回、憲法を考える学習講座があります。7月23日(土)は朗読劇と山口岡大教授の講話「憲法には何が書いてあるの?」です。(詳細は同公民館に問い合わせください) 電話とFAX 086(275)1341

「憲法九条を守る岡山北部共同センター」は毎月九日の宣伝と署名行動をよびかけ、六月は岡大西門南の生協会館周辺、七月はグランドマート津高店周辺で行動しました。

街頭宣伝と署名行動

岡山北部共同センター

七月二日、北公民館で「岡北地区九条の会」主催の憲法塾が開かれ、二十五人が参加(稲葉市議も出席)しました。用意された質問を講師の山口先生(岡大教授)が解説し、質疑応答が行われました。次回は九月三日、十月下旬と三回の予定です。



憲法塾ひろく

岡北地区9条の会

二ニューヨークで開かれたNPT(核不拡散条約)再検討会議にあわせて、五月二日、大デモ行進が行われました。これに参加した岡山市北方在住・武本さんの手記です。

核廃絶を求めると 大集会に参加して

世界から集まった四万人の人びとが、国連本部からセントラルパークまで五車線の大通りいっぱい広がって平和のパレードをしました。着物姿で人目をひいた日本人、太鼓やバグパイプを演奏しながら歩くアメリカ人、肩まる出で踊る若くてきれいな女性もいて、皆とても楽しそうでした。私は寒くてショール二枚を首に巻いて縮こまりながら、「平和の波をアメリカから世界に」のピラを道行く人に配りました。

肝心のNPT(核不拡散条約)の見直しは、アメリカのかたくな態度により採択にいたらず、失敗に終わりました。やっぱり平和にうしろむきなアメリカ!



でも世界の流れは違っていて、昨年の国連総会では核兵器廃絶を求める決議が可決されています。(国連加盟国百九十一のうち百五十一カ国、八割が賛成。賛成国は年々増えています。)

核のない平和な地球の到来を信じて、これからも核廃絶の運動を地道に続けなければと思います。